

2015年6月30日

ライチョウ保護 ご責任者 殿

NPO法人 山の自然学クラブ 会長 大森弘一郎

### 山の雷鳥保護へのお願いのこと

山のライチョウがピンチです。これに対するご提案とお願いです。

私たち山を愛する者たちのシンボルであり、貴重な観光資源でもある、ライチョウが絶滅の危機にあります。ご存じの通り、白山、八ヶ岳、木曾駒ヶ岳、のライチョウが絶滅して、まだ生存している、北アルプス、御嶽山。南アルプス、妙高、も減っています。

10年前に全部で3000羽だったのが2000羽に減ったとの調査結果です。

環境省のレッドリストでは、絶滅危惧種Ⅱ類 (VU) からⅠB類 (EN) に変更されました。「絶滅の危険が増大」という不名誉なランクです。これに応えるべく、人工飼育の研究が始まっていますが、これが成功したとしても、山にライチョウが住めなくなるとは、ここを訪れる人々が幸せだとは思えません。

これは登山者の責任ですが、またこのことを登山者に知らせるのは我々の責任であろうと思うのです。

私たちもこれに気付きました。15年前にこの右下の絵葉書を作り配り始めました、しかしその時の量は少なく力不足で継続することが出来ませんでした。もっと続けて活動をやりたいと言うのが今回の計画です。どうかご協力ください。

山に入る人全員に判ってもらいたい。その手段として、このライチョウ保護絵はがきを企画しました。これを制作してどんどん配っていただきたい。安くするために4枚の絵はがきを135gのA4の1枚に印刷しました。普通は100円の絵はがき4枚セットが10円で出来ます。見本をご覧ください。

下の「提供：」のところに御社のお名前を入れて印刷したものを、印刷屋から直接お届けします。2000枚単位とします。2000枚が2万円です。メールで必要数(〇千枚)と 提供： の空欄に入れるお名前と、お送りする先の住所をお知らせ下さい。入金を確認できましたらすぐ印刷会社に手配いたします。14日間以内にお届けします。